

近畿地方整備局 六甲砂防事務所	配付資料	平成23年1月19日 14時00分
資料配付		

件 名	大規模な土砂災害を想定した防災訓練を実施 ～兵庫県・神戸市・災害協定団体と共同した初のロール・レイング方式訓練～
-----	---

概要	【訓練のポイント】 訓練では、六甲山系で大規模地震（M 7 クラス）に伴う大規模土砂災害が発生したと想定し、兵庫県、神戸市、災害協定団体間の情報伝達・共有、緊急調査、住民避難、応急対策などについて、訓練参加者にあらかじめ災害シナリオを知らせずに行う「ロールプレイング方式」で行います。
	<ul style="list-style-type: none">○ 日時：平成23年1月24日（月）9：00～12：30○ 会場：葺合文化センター大ホール（神戸市中央区旗塚町4-4-1）○ 訓練参加機関（約70名）<ul style="list-style-type: none">近畿地方整備局河川計画課、六甲砂防事務所、兵庫県（砂防課、災害対策課、神戸土木事務所）、神戸市（公園砂防部、危機管理室、消防局警防課）、（社）兵庫県測量設計業協会、（社）兵庫県建設業協会、防災エキスパート○ ロールプレイング方式訓練の概要：別紙参照

取り扱い _____

配 布 場 所	兵庫県政記者クラブ 神戸市政記者クラブ
---------	------------------------

問い合わせ先	近畿地方整備局六甲砂防事務所
	副所長 岩井 敏男
	工事品質管理官 新川 良治

大規模な土砂災害を想定したロールプレイング方式訓練の概要

1. 目的

大規模な地震（M7 クラス、直下型地震）に伴う大規模土砂災害※の発生を想定した防災訓練を、六甲砂防事務所、兵庫県、神戸市、防災協定団体等の防災担当者が合同で実施することにより、防災体制の確認、関係機関間の連携体制の強化、災害対応能力の向上等を図るとともに、災害対応に関する現状の課題の把握を目的とする。六甲砂防事務所では初めての取り組みです。

※ 大規模土砂災害とは、「大規模土砂災害危機管理計画（近畿地方整備局、平成21年3月）」において「地震、豪雨、火山噴火等に起因する土砂災害であって、その対応に高度な技術を要し、通常の土砂災害等に対する体制では限界があり、かつ、その危機管理対応に国の役割が重要なものをいう。また、社会的な影響が甚大であるもの、被害が広範囲におよぶ恐れがあるもの、現象が進行性を伴っており、その結果として大規模な被害を生じる恐れがあると認められるものを含む。」としており、現象例としては、大規模な土石流、地すべり、河道閉塞、同時多発的に発生する土砂災害などがある。

2. 主要訓練項目

主要な訓練項目は以下を想定している。

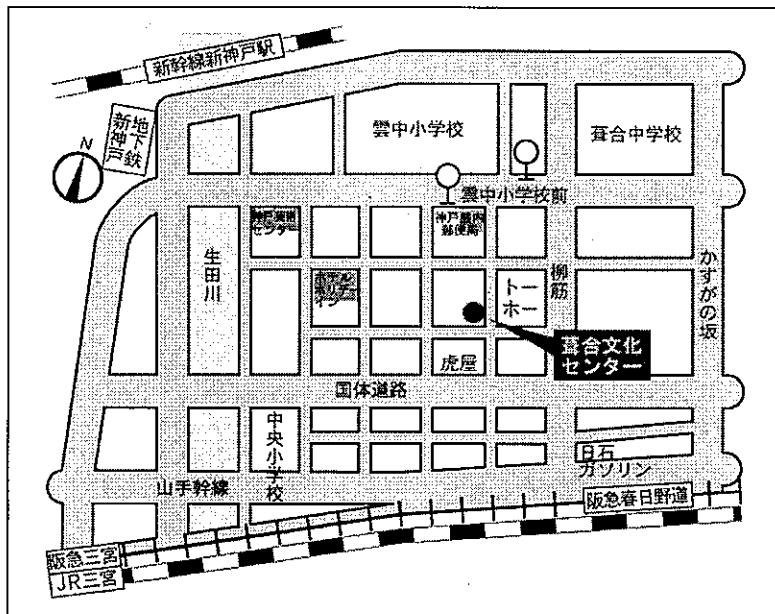
No.	主要訓練項目	訓練対象
1	迅速な情報収集、伝達および関係機関の情報共有化	事務所、兵庫県、神戸市
2	災害発生箇所に対する迅速な応急対策	事務所、兵庫県、神戸市
3	住民避難対応（避難勧告等）	神戸市
4	兵庫県や神戸市に対する技術的な支援活動	事務所
5	報道機関に対する対応	事務所、兵庫県、神戸市
6	応急対策に係る工事計画の立案等	建設業協会
7	土石流危険渓流の一斉点検調査等	測量設計業協会
8	河川巡視点検等	防災エキスパート

3. 訓練日時、会場等

(1) 日 時：平成23年1月24日（月） 9:00～12:30（訓練開始時刻：9:30）

(2) 会 場：葺合文化センター 大ホール

〒651-0068 神戸市中央区旗塚町4丁目4番1号 TEL: 078-242-0414



4. プログラム

- | | |
|---------------------|------------|
| 9 : 0 0 | 参加者集合 |
| 9 : 0 0 ~ 9 : 3 0 | 開会挨拶、事前説明等 |
| 9 : 3 0 ~ 1 2 : 3 0 | 訓練 |

5. 訓練の方法

(1) ロールプレイング方式とは

「役割演技法」ともいう。災害時の限りなく実相に近いシナリオを仕組みながら、コントローラ（進行側）とプレーヤ（訓練を受ける側）とに分かれ、それぞれの役割を通じて、災害対応能力を高めていくことを狙いとする。

(2) 訓練の仕組み

- ・ プレーヤ側と訓練を進行するコントローラ側に分かれて行う。
- ・ プレーヤは、事前に訓練のシナリオは知らされていない。
- ・ コントローラが演じる各ダミー機関等から気象状況や災害状況等が付与され、プレーヤが災害対応を判断、実行しながら訓練が進められる。